

基本的施策の進捗状況

◎目標達成 ○目標には届かないが、上向きに伸びているもの ▲さらなる努力が必要なもの

区分	主な施策の数値目標(H31年度)
I 家庭・地域における子育て支援	
<p>(1) 子育て家庭に対する支援 多様な保育サービスの拡充、放課後児童クラブ等の拡充等</p> <p>(2) 地域における子育て支援の促進 子育て支援ボランティア等の育成や祖父母による子育て支援活動の推進</p> <p>(3) 安心して子育てができる生活環境の整備 子育てにやさしいまちづくり、 子供の交通安全対策や犯罪から守るための活動の推進</p> <p>(4) 母と子の健康づくりへの支援 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援、 女性の健康・妊娠・出産に関する知識の普及啓発 乳幼児の健康診査や保健指導の充実 周産期医療等の充実(県立中央病院の整備充実(NICU、MFICU、小児外科)等)</p>	<p>◎保育所待機児童数ゼロ(27ゼロ→30ゼロ)</p> <p>◎特別保育 延長保育231か所(27225→30243) 休日保育72か所(2769→3078) 病児・病後児103か所(27108→30147)</p> <p>◎放課後児童クラブ259か所(27239→30272)</p> <p>○ファミリーサポートセンター登録者数(サービス提供者) 1,800人(271,696→301,680)</p> <p>○安全に通学できる歩道割合 63%(2761.8%→2962%) △チャイルドシートの使用率 極力100%(2769.7%→2966.4%)</p> <p>◎妊婦健康診査の受診率 97%(2798.2%→2999.2%) ◎主に小児医療に従事している医師数(小児人口1万人あたり) 12人以上(2612.1人→2812.8人) ◎主に産婦人科医療に従事している医師数(産科人口1万人あたり) 13人以上(2612.3人→2814人)</p>
II 仕事と子育ての両立支援	
<p>(1) 仕事と生活の調和の実現に向けた働き方の推進 労働時間の短縮等の推進、多様な勤務形態の導入促進 企業等における男女共同参画の取組み促進</p> <p>(2) 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備 一般事業主行動計画の策定支援、事業所内保育施設整備・運営への支援 両立支援制度などの定着促進、男性の子育て参画の促進</p> <p>(3) 就業支援 女性のキャリアアップや再就職等の支援、ひとり親家庭などへの自立支援</p>	<p>○年次休暇取得率60%以上(2746%→2950.0%)</p> <p>◎週労働時間60時間以上の雇用者の割合 H24(10%)の1割以上減少(2710%→298.8%)</p> <p>◎男女共同参画チーフオフィサー設置事業所数188事業所(27192→30216)</p> <p>○一般事業主行動計画策定率(極力100%) 51人～100人(2797.7%→2999.3%) 31人～50人(2734.2%→2979.2%)</p> <p>○男性の育児休業取得率 5%(273.8%→303.9%) △短時間勤務制度等の導入率 95%(2786.6%→2984.5%)</p> <p>○事業所内保育所の設置 55か所(2747→H30.11月 60)</p> <p>○「元氣とやま! 子育て応援企業」登録企業数 380社(27327→29375)</p> <p>△母子・父子自立支援プログラム策定件数60件(2735→2933)</p>
III 子どもの健やかな成長の支援	
<p>(1) 子どもの権利と利益の尊重 児童相談所の機能強化と相談体制の整備 (児童福祉司、児童心理司の増員、関係機関との連携強化)</p> <p>(2) 子どもの健全な育成 子どもの多様な体験・交流活動の推進 子どもの放課後の居場所づくりの推進 食育と子どもの基本的な生活習慣づくりの推進</p> <p>(3) 生命を尊び家族を形成する心を育む環境づくりの推進 生命の尊さ等について学ぶ機会の充実 男性の育児・家事への参画促進</p> <p>(4) 子どもの生きる力を育成する教育の推進 家庭教育力の向上、個性と創造性を伸ばす教育の充実、 児童生徒の心と体の健康づくり</p>	<p>△里親委託率21%(2719.9%→2918.6%)</p> <p>◎児童館・児童センター、ミニ児童館設置数245か所 (27265→29287)</p> <p>◎放課後児童クラブのうち18時を超えて開所するクラブ数78か所 (2782→30107)</p> <p>○とやまっ子さんさん広場事業実施箇所数25か所 (2726か所→3022か所)</p> <p>△子どもの朝食欠食率 極力0% [小5]270.8%→300.8% [中2]271.7%→302.1%</p> <p>◎高校生の赤ちゃんふれあい体験を実施した学校数 増加させる (2720校→2926校)</p> <p>△6歳未満の子どもを持つ男性の育児・家事関連時間140分 (284分→2965分)</p> <p>◎県立高校のインターンシップ体験率 74% (2773.9%→2974.5%)</p> <p>○とやま環境チャレンジ10への参加児童数(累計) 44,000人 (2732,857人→2939,503人)</p>
IV 次世代を担う若者への支援	
<p>(1) 結婚を希望する若者への支援 結婚を希望する独身男女の出会いの機会の創出 結婚や子育ての意義、喜びに関する意識啓発</p> <p>(2) ライフプラン教育の推進 学校におけるライフプラン教育 女性の健康・妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発</p> <p>(3) 若者の定着支援 若者の就業支援の充実、若者や女性のUJターンへの促進、 移住・定住の促進、県内の大学等の活性化</p>	<p>○マリッジサポートセンター会員の成婚数 年30組 (278組→3018組)</p>
V 経済的負担の軽減	
<p>(1) 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減 出産・保育・医療等にかかる経費の助成 就学にかかる経費の助成 住宅などにかかる経費の助成 など</p>	
VI 子育て支援の気運の醸成	
<p>(1) 子育て機運の醸成 社会全体で子どもや子育てを支援する意識づくり 家族のふれあいを促進する啓発活動</p>	<p>◎子育てを楽しんでいる割合 増加(2558.5%→2961.2%)</p> <p>◎とやま子育て応援団の利用度 増加(2750.3%→3061.7%)</p>